

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 教育庁企画管理部教育政策課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>2. 教育問題について</p> <p>(1) いま進められている教育委員会制度の改変は、教育に政治が介入する道を大きく開く、教育の中身を大きくゆがめるものとなると思うが、知事の認識はどうか。</p>	<p>1 今国会で成立した改正法は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を引き続き確保しつつ、責任の明確化や首長と教育委員会との連携強化などの改善を図るもので、教育内容をゆがめるものにはつながらないと認識しております。</p>	<p>教育長 瀧本 寛</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 教育庁教育振興部指導課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>2. 教育問題について （2）道徳を教科化して「特定の価値観」を教え込むなどということは許されないと思うがどうか。</p>	<p>道徳の教科化については、現在、国で検討されており、県教育委員会としては、国の動向を注視しつつ、引き続き道徳教育の充実に努めてまいります。</p>	<p>教育長 瀧本 寛</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成26年6月18日)

(代表・一般)

部(局・庁)・課(室)名 教育庁教育振興部指導課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>2. 教育問題について</p> <p>(3) 教科書採択について</p> <p>ア 現場での自由な選択が実際に妨げられていることについて、どう認識しているのか。</p> <p>イ 二度とこうした圧力を現場にかけるようなことは、やめるべきだと思うがどうか。</p>	<p>1 昨年度は、高等学校用教科書の採択について、様々な報道があったことなどから、各県立高等学校長に対し、生徒に混乱が生じないよう、教科書の使用にあたって留意すべき点について通知をしました。</p> <p>2 県立高校の教科書の選定に係る説明責任は各学校長にあり、生徒の実態や教科書の特徴、内容表記等細部にわたって十分に比較検討する必要があることを、継続的に指導しています。</p> <p>3 県教育委員会では、今後も校長が適正な教科書選定を行うことができるよう、引き続き指導してまいります。</p>	<p>教育長 瀧本 寛</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 教育庁教育振興部教職員課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>2. 教育問題について (4) 少人数学級について ア. 2年間にわたって少人数学級が進まなかったことをどう認識しているのか。</p>	<p>この2年間については、少人数学級推進のための定数が国から措置されなかったことから、これまでの少人数学級の水準を維持することとしました。</p> <p>今後とも、可能な限り少人数学級を推進していくことが重要であると認識しております。</p>	<p>教育長 瀧本 寛</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 教育庁教育振興部教職員課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>2. 教育問題について</p> <p>(4) 少人数学級について</p> <p>イ 県単独で予算をつけ、千葉県でも少人数学級を思い切って進めるべきだと考えるがどうか。</p> <p>(再質問)</p> <p>少人数学級を進めていきたいとのことだが、今年度、3年生に拡大すると、96人の加配でできたわけだから、ぜひやるべきではないか。</p>	<p>教職員定数は国が措置することが基本であることから、今後とも少人数学級の推進が図れるよう、これまでの全国都道府県教育長協議会等を通じての要望に加えまして、本年度は新たに県としての重点要望においても、国に対して働きかけをしてまいります。</p> <p>教職員定数につきましては国が措置することが基本であることから、今後も様々なルートを通じて、国に要望してまいります。</p>	<p>教育長 瀧本 寛</p> <p>教育長 瀧本 寛</p>